

《関連本・DVD の紹介 ウェーブ所蔵図書》



「女ことば」はつくられる  
中村桃子著／  
ひつじ書房／2007



DVD  
「おとなのけんか」  
2011 / フランス・ドイツ・  
ポーランド・スペイン合作 /  
79分



デブラ・ウィンガーを探して  
ハリウッド女優34人の哲学  
ロザンナ アークエット編著 /  
河出書房新社 / 2003



DVD  
「大阪ハムレット」  
2008 / 日本 / 107分

ウェーブ

【図書・資料コーナー】

男女共同参画に関する情報を収集し、提供しています  
□貸出：月～土 10:00～17:15 (資料整理期間は除く)  
図書・雑誌…5冊2週間  
ビデオ・DVD…1本2週間

【女性のための相談室】

□電話相談：0798-64-9499  
月・木 / 10:00～16:00 / 一人40分程度  
□面接相談：要予約 / 火・水・土  
10:00～16:30 / 一人50分  
□法律相談：要予約 / 第3金  
14:00～17:00 / 一人30分

【女性のためのチャレンジ相談】

再就職・起業・地域貢献の実現に向けたアドバイス、  
ニーズに応じた支援施設の紹介など、キャリアコンサ  
ルタントによる相談です

□面接相談：要予約  
奇数月…第3水 / 13:00～16:00  
偶数月…第2金 / 10:00～13:00  
一人50分

※予約 0798-64-9498 (月～土 / 9:00～17:15)  
※相談は託児付き  
※ただし上記すべて、休日、祝日、  
12月29日～1月3日は除く



言葉と女性

私が見つかる「言葉」について

発行：西宮市男女共同参画センター ウェーブ  
〒663-8204  
西宮市高松町4-8 プレラにしのみや4F  
TEL.0798-64-9495 FAX.0798-64-9496  
<https://www.nishi.or.jp/bunka/danjokyodosankaku/index.html>  
<https://www.facebook.com/nishi.wave/>

発行日：令和2(2020)年3月  
イラスト：宮武小鈴



こども、もぐら、らっば、パイナップル…、尻取り。最後に「ん」がついたら負けだよ。

言葉遊びもしたし、歌の歌詞には「力」をもらった。

友だちの何気ない言葉に傷つきもしたけれど、優しい言葉になくさめられもした。

言葉の役割「話す、聞く、伝える」には、たくさんの“いろいろ”が詰まっている。

例えば、「ありがとう」って言われるとちょっと嬉しい。

ありがとうという言葉の存在に、ありがとう。

例えば、「さよなら」って言われるとちょっと淋しい。

でも、さよならという言葉があるから、次に進めるのかも。

①

そして「歴史」という言葉。

HISTORYは、HIS (彼の) とSTORY (物語) でできている。

「彼」と呼ばれる人たちだけの物語という言葉。

彼以外の人、例えば「HER (彼女の) STORY (物語)」

HERSTORY (ハーストーリー) はどこにいった？

それを意味する言葉がないと、存在さえもないことになってしまう。

言葉は思想。時代を映し出すだけではなく、その成り立ちや変化までも“身”を持って教えてくれる。

②





## インタビュー

# 「女ことば」はだれの言葉？

中村桃子（関東学院大学経営学部教授）

研究分野は、言語学、女ことば、英語、ジェンダー、フェミニズム  
著書：『ことばとジェンダー』勁草書房／『「女ことば」はつくられる』ひつじ書房／『〈性〉と日本語 ことばがつくる女と男』日本放送出版協会・NHKブックス／『女ことばと日本語』岩波新書／『翻訳がつくる日本語 一ヒロインは「女ことば」を話し続ける』白澤社、共編著：『暴力とジェンダー 連続講義』白澤社／『ジェンダーで学ぶ言語学』世界思想社、ほか多数。

### 昔の人は「女ことば」を話していた？

若い人に「女ことば」の話をする、と「女ことばって何ですか？」っていわれます。では、「親御さんに、女の子なんだから言葉遣いをもっと丁寧にしなさい、といわれたことがありますか？」と聞くと、手があがります。女の子にだけ、言葉遣いや所作も含めて「らしくしなさい」といわれます。

「女ことば」とは、女の人が話している言葉ではなく「規範」です。規範というのは、そういうものを目指して、立ち居振る舞いをしなさいということです。日本は他の国に比べて言葉遣いでも女らしさを表現しなさいという規範が強い文化で、しつけにも繋がっているのです。アメリカの女性でも言葉遣いは注意されますが程度問題です。文化によって何が女らしいかはちがいますが、日本は言葉遣いでも女らしさを表現することを期待されるという特徴があります。

言葉をどこから学ぶのか。テレビや映画を観たり、ラジオを聞いたりして、メディアから学ぶわけです。テレビドラマに出てくる人は「女ことば」を話しています。台本どおりですから。女ことばは標準語なので、ほとんどの人は話していないんです。現実には、人は地域の言葉と話していたわけです。「女こと

ば」が生まれつきもっている自然の女らしさからにじみ出た言葉だとしたら、注意したり教えなくても、女性はだれでも「女ことば」を話すはずで。

### なぜ「女ことば」という規範はなくなるのか

「女ことばって何？」と聞くと、みなさん「女の人が話している言葉でしょ」って言いますが、「誰も話してないでしょ」って言う、「今の女性は話してないけど、昔の女性はみんな話していた」と。果たしてそうでしょうか。「女ことばイデオロギー」を維持する方法のひとつとして「今の人はだめだけど、昔はしゃべっていた」という言説があると指摘されています。

明治時代にも「僕、きみ、何々君」と呼び合い、規範を破って自由に話す女性がいたにもかかわらず、なぜ規範はなくならなかったのでしょうか。女らしさにかかわらず、「規範」という支配的なイデオロギーは抽象的なものですから、その時々によってさまざまな装置で正当化し、維持されてきました。

「日本語は素晴らしい言語だ」と、戦中戦後に東アジアの人に日本語や日本人の名前をつかわせる政策がありました。そのころか

ら、女性と男性がちがう言語をつかうほど日本語は精緻で素晴らしい言語なんだといわれ始め、「女ことば」も「国語」の中に位置づけられたのです。

戦争中は食べる物もなく、言葉遣いもひどかった。でも「本当の日本の女性」は、そんな言葉遣いはしちゃいけないと戦後、識者たちが言うわけです。目の前にいる実際の女性は女らしい言葉遣いをしていないけれど、昔の女性は女らしい言葉遣いを自然にしていたという「起源の捏造」が行われたのです。

「起源の捏造」は「女ことばイデオロギー」だけに限りません。例えば有名な「伝統の創造\*1」を提唱したイギリスの歴史家エリック・ホブズボームによると、スコットランドの男性のタータンチェックのスカートは、スコットランドを独立させようという気運が高まったときにこういう伝統があったんだというために「伝統にされた」という研究があります。

現実と伝統との齟齬があってもイデオロギーを維持していくために過去を創り上げるのです。女ことばに関しても昔の女性は女らしい言葉遣いをしていて、それが日本語になった、伝統なのだといわれてきました。では、その昔っていつなの？ いつ話していたの？ 国語という標準語ができる以前から話していたの？ ということになりませんか？

### 創造的な言語行為も規範に取り込まれてしまう

大学生の男子に「なんとかなだわ」「なんとかなかしら」って話す女の人を、どう思うって聞いたら、すぐく考えたあとに「まあ美人だ

と思いますよね」と。「てよだわ言葉\*2」には、そういう魅力があるんですね。

明治時代に、女学生が自分たちに与えられた良妻賢母の理想に反逆するための言葉として「何々かしら」「何々だわ」と「てよだわ言葉」をつかったにもかかわらず、それがそのまま、良家のお嬢様、要するに良妻賢母予備軍の言葉遣いになっていきました。

当時、「てよだわ言葉」は小説の中で恋愛する少女の言葉としてつかわれたことによって、反逆のだった女学生たちも小説の中の少女と同じように恋愛し、そして親の準備した人と結婚をしていきました。女学生の反逆の試みは、異性愛の性の対象物として利用され、消費されていったのです。

今も、萌えゲー\*3の中には、いろんな種類の少女が出てきます。「ボクっ子」「めがねっ子」「逆萌系」…。ゲームをする側の好みに合わせて、いろんな少女が取り揃えられて利用され、消費されているじゃないですか。

女性にとっても、女らしさにはセクシュアリティが無関係ではないから難しいんです。良妻賢母の女らしさは嫌、モテないのは嫌。でもあまり「モテ」のほうにいったら「自堕落な女」になるのも嫌。女性はその微妙なバランスを生きているという側面があるのです。

3

4



## 言葉は人間関係を調整する役割がある

若い女性が普段はタメ口でしゃべっているのに、人をいじめるときや主張するときには普段つかわない「女ことば」で言うんです。その人だけを省いたときには「あら、言ってなかったかしら」「なんとかあそばせ」と。言っている内容がひどいので「品をあげる」んです。すごく複雑に鎧で固めて嫌な気持ちを伝えます。丁寧な言葉だから、相手との間に距離感が出ますよね。

5 一口に「今の学生は」と、まとめることはできないのですが、男子が下の名前であうことに驚いています。名字ではなく、「ゆうや」とか「しんたろう」と。人間関係の距離が近い感じがします。また、授業で発表内容に意見すると、「先生に責められた」「ダメっていわれた」と言う学生もいて、男子学生が「なー、そーだよな」と共感の慰める言葉をかけたりしています。人間関係に気遣い、仲間であるための距離感に敏感なんですね。

女性管理職の研究もしていますので、会社の広報誌に載る「女性初の取締役」の方にインタビューをすると、「入社したときは3年で辞めようと思っていました」「まさかこんなに長く勤めて取締役にまでなるとは思わなかった」と全員が最初におっしゃいます。女性社員が、自分たちとはちがう、ああはなりたくない、なれないと管理職の女性に対してネガティブな評価をしている

ことに気が付いているので、なるだけ女性社員との距離を縮めようとする発言です。

一方、男性管理職も今までのような直接命令するような仕方が通じる時代ではなくなっています。女ことばをどうとらえるかということは、人によってちがうんですが、一般的にはていねいで、曖昧で、柔らかく、「女らしさ」に直結しています。はっきり物言わず、物腰が柔らかい人が女らしいと思われているので、職場でのリーダーシップとは対極にあり、女性にとってはジレンマです。けれど、女性の「これやらないといけないんだけど、どう?」「やってくれたらありがたいな」みたいな感じの言い方もできて、部下が意見を言いやすい雰囲気作りができる人じゃないと生き残っていけないという研究結果があります。

職場の組織構造が変わってきて、一方的に上から指示するだけではグローバルで変化する時代に会社は立ち行かないということです。

## 翻訳がつくる世界共通の均質化した「女らしさ」

テレビ番組で外国人のインタビューを見ていると、テロップで流れる翻訳された話言葉が「やあ、なんとかさ」と、よく出てきます。日本人はだれもしゃべっていない、あの日本語「いやー、ジョン、僕はマイケルさ」、おちゃらけた外国人の男性を表現しています。日本男児の男らしさと区別するためでしょう。こんなふう翻訳されているのを本人が知ったらどう思うでしょうね。

現代でもっとも典型的な女ことばをついているのが翻訳です。翻訳では人種も

国籍も年齢も歴史も全部越えて、世界中の女性がみんな「私なんとかだわ」って、日本人より女らしい日本の女ことばを話しています。となると、日本語の女ことばと結びついている「女らしさ」は世界共通ということになります。では、世界共通の女らしさってなんですか? 「女性ならだれでも生まれながらもっている女らしさがある」ということですか?

従来「性」は生まれつきのもので変えられないと考えられていたのですが、実は変えられるんだということを「ジェンダー」という概念は教えてくれました。女/男らしさとは、行為すること、人とかかわったり、しゃべったり、動いたりといった行為をすることによって表現するもので、「もって」いたり、「属している」ことで「あるもの」ではないのです。言葉の場合で言えば、だれもがいろいろな場面で、いろいろな言葉を材料としてつかうことで、いろいろな女らしさや男らしさを表現している、だから変えられるという考え方です。

言葉はあまりにも身近なため、みなさん、気がつかれないことは多いのですが、女性も男性もさまざまな要因に配慮しながら言葉をつかっているのです。男性が公的なところでは自分のことを「わたし」というように、同じ人でも場面や状況、相手によって、無意識に、あるいは意識的に言葉遣いを変えています。「性別」だけに基づいて言葉をつかっている人などいません。言語研究にジェンダーの考え方を取り込むことで、言語が社会の支配構造と密接に関係したイデオロギ一的な側面も持っていることが明らかになったのです。

※1 伝統の創造:「創られた伝統」エリック・ホブズボーム、テレンス・レンジャー編著/1992年/紀伊国屋書店(文化人類学叢書)。「伝統」という言葉は「遠い昔から受け継がれてきたもの」と一般的に理解されているが、実例をもとに多くは近代以降、人工的に創り出されたものであるという。「伝統の創造」という言葉はこの本に由来し、「伝統」には価値、権威があるという信条を生み出し、意図的に創り出す社会現象。

※2 てよだわ言葉:「よろしくてよ」「すてきだわ」「かまいませんことよ」など、「てよ」「だわ」などを語尾につける言い方。明治中期ごろから女学生が使用し流行したとされる。中村桃子さんによる造語。

※3 萌えゲー:「萌え」の要素を取り入れたデジタルゲームなどの俗語。「萌え」とは、相手に対して好印象を抱いた際に用いられる若者言葉。ただし「萌えゲー」「萌え」についてはさまざまな意見があり確固とした定義付けは難しい。



6





## インタビュー

# 若者支援は「言葉」から 場面や状況、そして自分に 丁度いい言葉をつかむ

浅井紀久子（臨床心理士・公認心理師／「特定非営利活動法人青少年自立支援施設淡路ブラッツ」）

ひきこもり・ニート・不登校の若者の自立支援を目的にした通所施設「淡路ブラッツ」（居場所：生きづらさを抱えている若者が家族以外の第三者と関わり、その人なりの社会参加ができるように支援を行う場所）のスタッフ。

## 境界線に気づく

居場所に来始めたばかりの若者にとって、挨拶は勇気のいることです。スタッフが「こんにちは」と言うのを見て、このぐらいのタイミングで、このぐらいの声のボリュームで、こういうふうに言ったらいいんだ、とつかむようです。

挨拶はちゃんとしたいとはわかっているんですけど、返してもらえなかったらどうしようと思って怖くなるんです。たしかに返ってこない可能性もあります。先に居場所に来ている若者で雰囲気ができあがっていたり、単純に聞こえていなかったり、聞こえているけど相手に返す余裕がないときもあります。なので、「あなたを無視しているのではなく、タイミングでそうになってしまう可能性もあるよ」と伝えます。

何気ない一言に傷ついて、「あの人は苦手だから関わりたくない」ということもありがちです。逆に「そういう言い方をしたらきつく聞こえるよ」ということも。

例えば、嫌われているからきつい言い方をされるのではなく「あの人は他の人にもそういう言い方をしてるよ」と事実を伝えて、「自分だけに非がある」という捉え方をしないように受取り方の練習を繰り返すことに

よって、自分と他人との境界線に気づき距離感をつかんでいきます。

## 感情に言葉をつける

自分が何に困っているのか、プライドもあって言語化できない人もいますが、親御さんの立場に立つと「この子は自分の将来のこと、何も考えていないんじゃないか」と不安や不信につながる場合もあります。

気持ちを言語化することが苦手な人は、いろんな感情が全部「もやもや」のままになっている場合もあります。言葉は自分の状況を整理する一つのツールになるので、「それって悲しいよね」「不安に思っているのかな」「心配になるよね」と正体不明の感情に言葉をつけつつ、状況整理をします。感情を言語化しても不安や恐怖がなくなるわけではないです。けれど「先のことを考えると、何かわからないけど怖い」と感情に巻き込まれて訳がわからなくなっていた状態を客観視できるようになります。

また、「なんでわかってくれないんだ」とただ不機嫌になっても、周りはしんどそうだと察知はできても、どうしたらいいのかわからず、わからない自分を責めて、言ってくれたら対応できるのにと腹立たしくもあり、悪循環

です。言語化できると「今しんどいから、声かけんといて」など、伝えることができるようになります。

感情を言語化して伝えるのは自分をさらけ出すことに近いので、居場所に来ている人だけではなく誰にとっても結構難しいです。わかってもらえるだろうか、否定されるんじゃないか…。今まで何も言わないことで収まってきた経験から「言わない」という人もいます。でも、自分の気持ちを伝えられるほうが結果的には自分自身にプラスになることが多いと伝えます。

## 丁度いい言葉を探す

喫茶店で飲み物を頼んだら小さな虫が入っていた。どうする？ 「えっ」と思いながら我慢する人もいます。周りを気にせず「虫が入ってるじゃないか!」と店員さんに怒鳴る人もいます。我慢でも怒鳴るでもない言い方は？ という練習もします。

まるで自分がクレームを言われるように受け止め、相手に嫌な思いをさせるのは申し訳ないから我慢すると考えたり、ムツとされるかもと、悪い方向に展開するイメージばかりが膨らんでしまう人もいます。自分の思いを伝える手段ができ、自分と相手との境界線が引けると「虫が入っているから取り替えてください」と言えるようになります。一つづつは大きな出来事ではなくても、自分ばかりが我慢していると世の中に対する不満が溜まってしまいます。

## 雑談のすすめ

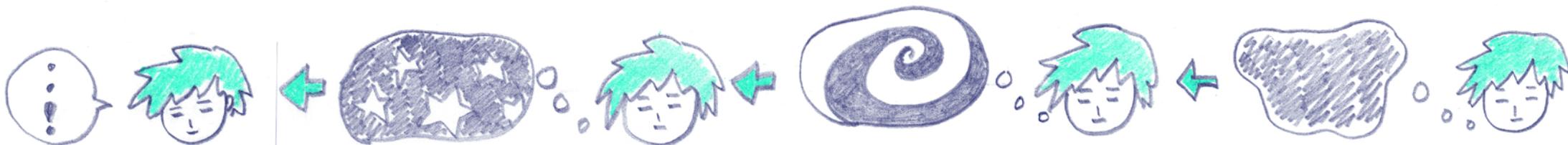
雑談は難しいです。聞かれたくないことを聞かれたときにどう答えるかという難題もあります。例えば、バイト先で「何やってるの？ 学生さん?」と聞かれたら何と答えるか。

「いやー、まあちょっと」「フリーターなんです」「学生じゃないんですよ」と流してちがう話にもっていく、そんなふうにはできればいいんですが、真面目に「実はしんどくなって…」と全部話さないと隠し事をしているように思ってしまう人もいます。聞いた人は詮索するつもりはなく、軽い雑談のつもりで聞いているのですが。

沈黙が苦手なシーンとなるのは堪えられない、でも何を話していいのかわからない。「沈黙は苦手だよ」というようなことが言えたら楽になるかもしれません。沈黙になってしまったとき、話のネタがあると安心できるなら用意しておくのも一つだと思います。「最近映画観ました?」くらいの軽いネタです。雑談のシミュレーションもしたくなりますが、もちろん思った通りの答えや質問が返ってこないことがあるので、困らない程度がいいと思います。

人の印象は言葉のつかい方でも決まります。体力やスキルを考えた上で「自分にはできないです」と言ったとしても、言葉が足りない「あなたが努力してないだけだよ」と受け取られかねません。元々攻撃的な性格ではないのにインターネット上で文字だけの会話で結構きつい言葉のやりとりで慣れてしまって、面と向かった相手にも同じような言葉をつかって誤解されてしまう場合もあります。ツールや状況によっても言葉遣いはちがってきます。

ちがうニュアンスに受け取られたかなという経験は私にもあります。状況に応じた言葉の選び方は場数を踏んで獲得できることです。「雑談ができるようになるイコール社会参加ができる」ではありませんが、ちょっとだけ社会に出て行くハードルが下がるように思います。





## 言葉からみえる「女性」



### 【男女】

日本語が男性ファーストであることは、「男」を意味する文字を最初に置く表現からわかる。夫婦、子女、男尊女卑、夫唱婦隨など。「男女平等」「男女共学」も平等概念を伝えているにもかかわらず男性に優先権を与えている。

### 【紅一点】

葉の茂みの中の一輪の花を「紅一点」といい、男性集団に女性が一人という意味である。「数」の問題ではあるが、「一人だけ選ばれて男性社会の仲間に入れてもらえた特別な女性」という意味合いもあり、何が特別で選ばれるのかは、選ぶ側の都合次第である。

9 現実社会では、企業や政治などの意思決定のあらゆる場面で「たくさんの男性と少しの女性」は見慣れた光景である。「男性社会」を前提に女性の椅子は少しだけしか用意されていないことを示している。

### 【女】

三本の線で表す「女」という文字は、手を組んでひざまづく屈従のポーズから生まれた。いろいろな文字と結びつきたくさんの文字になっているが、否定的な意味の文字も多い。

奴(奴隷、いやしい者)、媚(こびる、へつらう)、嫌(きらう、うたがう)、嫉(ねたむ、そねむ)、妬(ねたむ、やきもちをやく)、妾(道理に合わない、うそ)、妨(そこなう、さまたげる)、姦(よこしま、みだら)、妖(なまめく、あやしい) …。



### 【職場の花】

女性に期待される「女らしさ」は「花」に象徴され「花」に例える言葉で表現される。

男性の多い職場に華やかさを添える若い女性は「職場の花」。女性に挟まれる男性は「両手に花」。少女は「蕾」。容姿を誉める格言は「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」。「大和なでしこ」は控えめで慎ましい女性。高齢になると「姥桜」。女性の名前は花に関連するものが多い。

### 【良妻賢母】

「良き妻」は貞節を守り従順であることが期待されていたが、明治になり「家庭を守って夫の社会的な労働や国家的な活動を支える」、つまり性別役割分業「男は仕事、女は家庭」にもとづく女性観が主張されるようになった。

次世代の国民を育成する良妻賢母思想の登場により、女子の中等教育の普及が促され、「良妻賢母」を校訓とする高等女学校が設置された。良妻賢母思想は女子教育を通じて浸透していった。

### 【適齢期】

ほとんどの場合、「結婚できる年齢」という意味でつかわれる。年齢は男女で異なり、女性は出産に適した時期、男性は経済的に安定する時期が相応しいとされ、結婚に期待されるものの男女差が表れている。

晩婚化により死語になった「売れ残りのクリスマスケーキ」は、25歳を過ぎた独身女性を「時期(24日)が外れ、ほしがる人はいない」と揶揄していた。

### 【夫婦茶碗】

夫婦の関係性を物で示している。同じデザインの大小の茶碗は大きいほうが夫用。しかし夫婦で同じサイズのティーカップには違和感をもたないことから、伝統的食器には文化的背景があることがわかる。封建時代の食事の慣習は、夫が妻よりたくさん食べるのが当たり前、目上の人から順に子どもへと分けられ、嫁である妻は最後に少ししか食べられなかった。

食器だけではなく、二つ並んだ岩を「夫婦岩」と呼び、自然現象にも異性愛を前提とした「夫婦(めおと)」のレッテルを貼る。

### 【奥さん】

近代以前、大名の妻が「奥様」とたてまつられていたことに由来するが、現代では庶民の既婚女性はすべて「奥さん」と呼ばれる。「奥」は建物の奥であり、男性が多くの時間を「奥」で過ごしても「奥さん」とは決して呼ばれない。

ほかにも妻を表す「家内」「女房」、ていねいにする際はけなして「愚妻」「細君」がある。妻は夫を尊敬語の「主人」と呼ぶ場合が多いが、言葉に含まれる差別を意識し、「結婚する」意味の動詞から「連れ合い」、あるいは対等な関係として「妻」に対応する「夫」も一般化しつつある。

### 【父兄会】

「父兄」は単純に父と兄ではなく、児童や生徒の保護者を対象とするため、現在は「保護者会」が一般的である。民法が改正(1948年)されるまで、子どもを養育する法的権限が母にはなかった時代の価値観を反映している。女性が隠されている言葉には「兄弟」もある。兄弟姉妹すべてを表すにもかかわらず、文字通り「兄と弟」だけで表現されている。

### 【女流】

男性の職業とされてきた仕事に女性が就いたとき、女流作家、女流棋士などにつけられる。ときには「美人女流棋士」と仕事に無関係の容姿までがセットになる。「流」を外して「女医」「女教師」「女性アスリート」という言い方もされる。「男流」という言葉はなく、女性特有のものを期待され、主流から外れていると印象づける効果がある。



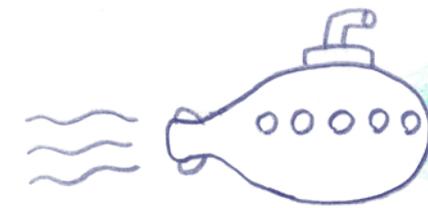
### 【内助の功】

妻の力添えによって夫が成功するという意味。日本が経済発展を遂げることができた要因のひとつは「内助の功」である。経済分析ではこの「隠れた要因」は無視されるが、長期にわたる男性の長時間労働は、家庭責任(家事・育児・介護)を担う妻の貢献によるところが大きい。

また「女房役」という言葉は、中心になる人のそばで助ける役目の人をいう。



※参考資料:「日本語は女をどう表現してきたか」キトレッジ・チェリー著 福武書店/「岩波 女性学事典」岩波書店/「岩波 国語辞典」岩波書店/「新版 漢語林」大修館書店/「紅一点論—アニメ・特撮・伝記のヒロイン像」斎藤美奈子著 株式会社ビレッジセンター出版局





## 《やさしい日本語》

### 情報の受け手が理解できるように わかりやすさに配慮する

阪神・淡路大震災（1995年）で外国人への情報提供が課題となり、「やさしい日本語」の研究・普及が進められてきました。一部を紹介します。

#### ■ 平易に具体的に言い換える

- ・「今朝」→「今日の朝」
- ・「確認」→「よく見る」
- ・「警戒」→「気をつける」
- ・「おっしゃる」→「言う」
- ・「立入禁止」→「入らないでください」
- ・「高台に避難する」→「高いところへ逃げる」
- ・「市内」→「西宮」
- ・「元号(令和元年)」→「西暦(2019年)」
- ・「中二」→「14才」「中学2年生」
- ・「熱湯、ライフライン、デマ」→「熱いお湯、水・ガス・電気、うそのお話」
- ・「地震が発生」→「地震が起こった」
- ・「身体を動かしやすい服装」→「Tシャツ、ズボンなどの服」

#### ■ イエス、ノーをはっきりさせる

- ・「いいです」「結構です」→「います」「いません」

#### ■ 短文にする

- ・「会議については都合のいい日を教えてもらったら、みんなに連絡します」→「会議はいつがいいですか。私がみんなに連絡します」

#### ■ ほかに

- \*漢字、カタカナにはルビをふる
- \*ローマ字はつかわない
- \*絵や写真をつかう
- \*二重否定の表現はつかわない
- \*分かち書き（言葉と言葉の間に空白を入れる）にする

#### ■ 知っておいたほうが良い言葉は、そのままつかい、言い換えを加える

- ・「避難所」→「みんなが逃げるところ」
- ・「津波」→「とても高い波」
- ・「炊き出し」→「温かい食べ物を作って配る」
- ・「無料」→「お金はいらない」

例：「避難所<みんなが逃げるところ>は安全です。避難所はだれでも使うことができます。避難所に行ってください。ぜんぶ無料です。お金はいりません」

※参考資料：「外国人市民と話せる やさしい日本語 多文化共生の地域を作る」（公財）西宮市国際交流協会

#### 関連図書紹介

### 「おネエことば」と「おネエキャラブーム」を批判的に読む

#### 「おネエことば」論

クレア・マリイ著／青土社／2013

「おネエことば」について初めての本格的な研究である。「あとがき」に「おネエキャラがいるからカミングアウトした若者が迷惑している」と嘆く人の話を複雑な気持ちで聞いたエピソードがある。「テレビに出演するタレントが『素』であるはずはない、そこで使われていることばこそメディア言語である、とわたしは感じるからである。むしろ、『おネエキャラのことば』を制約したイメージに固定して生産するメディア社会、特定の世界観を押し進めるために利用するメディアやそのメディアを動かすモノに批判的な眼差しをむけるべきではないだろうか」この著者の考えが本書を貫く。

「おネエことば」はLGBTコミュニティでゲイ男性が用いる「女ことば」を真似た言葉遣いという先入観を棄て、メディアを中心に「おネエことば」がどのように消費されているのか探ることを目的としている。

例えば、テレビの変身番組では、おネエキャラタレントが辛らつな批判を対象者に浴びせた後、専門性を発揮して変身させる。ただし異性愛規範に基づいた変身であり、決して異性愛規範への挑発はしない。「おネエことば」は商品価値がある話術に過ぎず、異性愛規範の強化に加担すると分析している。



### 言葉は時代や社会の空気感によって輝き、色褪せもする

#### 言葉尻とらえ隊

能町みね子著／文春文庫／2014

「言葉尻」とは「他人の言いそこなった部分。失言の箇所」という意味がある。ニュースやCM、芸能人のブログやツイッターの話題を中心に「ざわつく言葉」は、なぜざわつくのかを紐解く。例えば、職業に「自称」という言葉をつけると怪しさが醸し出され、つけられた人は「怪しい感じの人」として流布されていく。ではだれがだれに、どんな意図をもって「自称」をつけるのか…。

さまざまな出来事を“その人”はどんな言葉で乗り切ったのかに注目し、「ひととなり」まで透けてみせる。ツイッターで自分が議論の真ん中にいるのに「色々な人が考えるきっかけになるといいかなと思うよ!!」と発言した文化人に、「一つ上の場所に移動して自分を当事者の枠から逃す発言だ。バレない程度に、絶妙にズルいんだよね」というように。

ざわつきながらも見過ごしかねない言葉を取り上げ、そこにあるうっすらとした悪意やズレ感を暴き、白日の下に曝していく。とはいえ悪意を探っているわけではないので、結構、滋味深い言葉の数々にも出会える。

「今読むと時代を感じる項もたくさんあります」と著者がいうように古い「ざわつき」もあるが、それも含めて言葉が照射する社会がみえる。



## ことばと社会は 一緒になって変わっていく

野中モモ (翻訳者・ライター)

著書:「デヴィッド・ボウイ 変幻するカルト・スター」筑摩書房、  
訳書:「飢える私 ままならない心と体」亜紀書房、世界を変えた  
50人の女性科学者たち」創元社、共編著:「日本のZINEについて  
知ってることすべて」誠文堂新光社、ほか多数。

翻訳というのは百点満点の正解が存在しない営みです。ある言語のある言葉の意味が、別の言語の別の言葉の意味にぴったりそのまま重なることは、ほぼ無いと言っていいでしょう。「この語にはこの訳語をあてるしかない」類の固有名詞だって、そこからどんなイメージが喚起されるかは、それを取り巻く文化しだいで変わってくるはず。そういうわけで翻訳者は、自分がいわば終わりなき負け戦に挑んでいるのだと知りつつ、できる限り原文に忠実かつ日本語としても自然な訳文をひねり出そうと、日々頭を悩ませています。

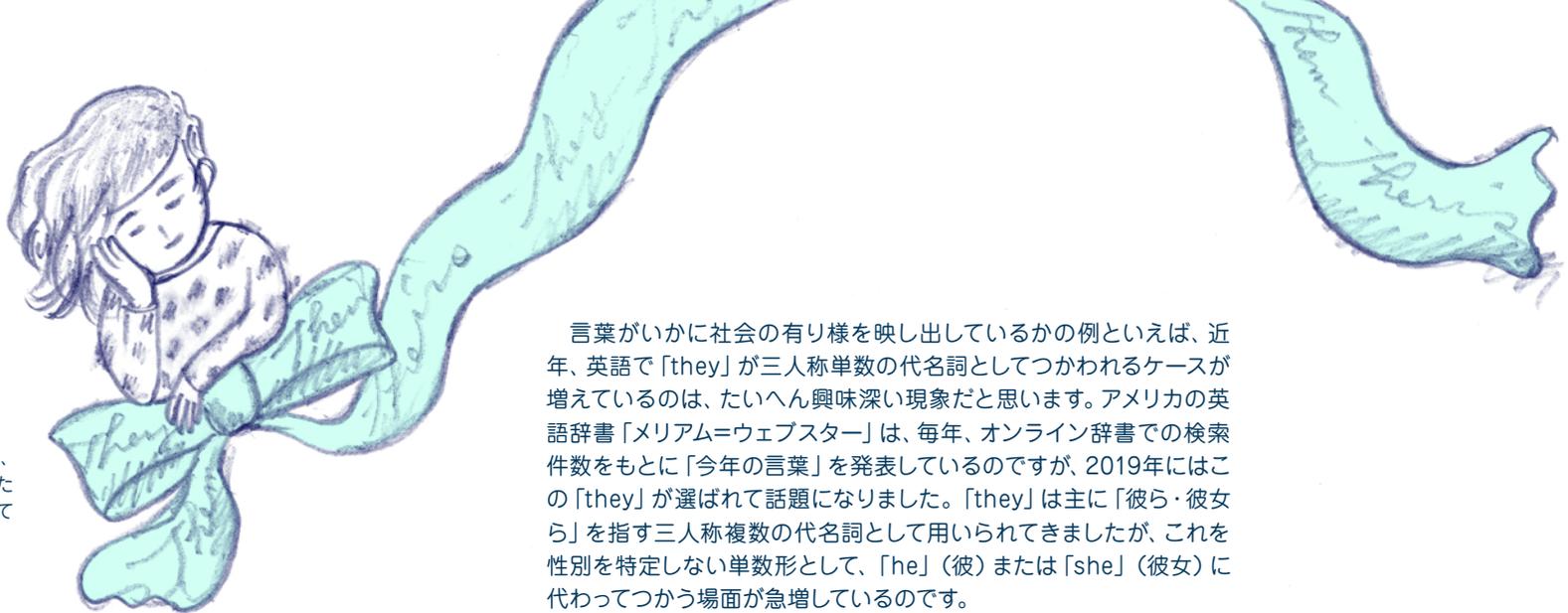
それはときに苦しいけれど、ふたつの言語のあいだに立って読み考える行為には、確かに頭が冴えてくるような面白さや喜びが伴うのです。私たち人間がどのように世界を見て、どのようにものを考えるか、

そのかなり大きな部分が言葉によって構成されていますから、普段慣れ親しんでいるのとは別の言語に触れることは、すなわち自分とは違う他者の思考の枠組みや文化や歴史を知ることでもあります。そしてそれは他者だけでなく、自分自身を発見し、自分が属している社会のかたちを知るにあたって助けとなる視点を与えてくれるのです。

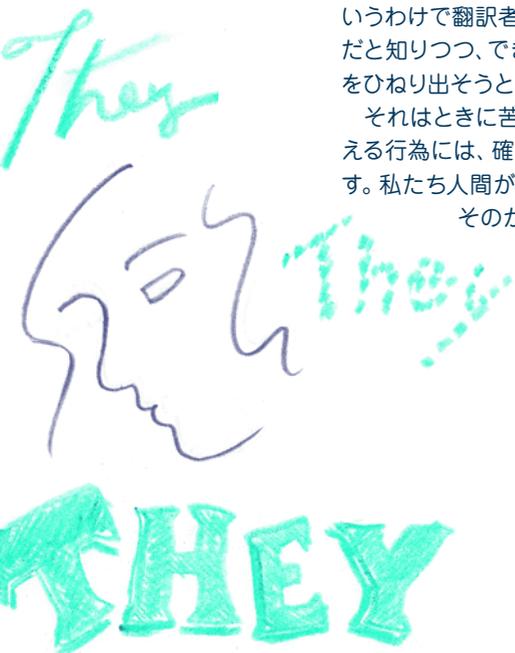
言葉がいかに社会の有り様を映し出しているかの例といえば、近年、英語で「they」が三人称単数の代名詞としてつかわれるケースが増えているのは、たいへん興味深い現象だと思います。アメリカの英語辞書「メリアム=ウェブスター」は、毎年、オンライン辞書での検索件数をもとに「今年の言葉」を発表しているのですが、2019年にはこの「they」が選ばれて話題になりました。「they」は主に「彼ら・彼女ら」を指す三人称複数の代名詞として用いられてきましたが、これを性別を特定しない単数形として、「he」(彼)または「she」(彼女)に代わってつかう場面が増しているのです。

性別に関して、自分は男性にも女性にも分類されないとする人をノンバイナリー(二分法に収まらない)ジェンダーといいます。そうした人を指すとき、性別を男か女のどちらかに振り分ける「he」や「she」では失礼になってしまうでしょう。そこで性別が特定されない「they」が単数形としても日常的につかわれるようになってきたのです。2019年には、イギリスの歌手サム・スミスなど自分を指すときは「they」をつかってほしいと発言する有名人も続々登場し、注目を集めました。その結果、この年の「they」の検索件数は前年比で313%もの急上昇がみられたとのこと。

性別が曖昧な人、そして個人にも集団にもつかわれる代名詞「they」は、英語圏の人々の自己認識にどのような影響を及ぼしていくのか、とても気になっています。翻訳するのは難しいけれど、だからこそこうした他の言語から生まれた発想には、日本語に埋め込まれた性差別を克服するためのヒントも秘められているのではないのでしょうか。言葉は使う人間しだいで変化していくもの。いま生きている自分たちがこれからの日本語を作っていくのだという意識を持って、言葉のつかわれ方に注意を払い、感覚を磨いていきたいものです。



13



14

